

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公表番号】特表2008-510901(P2008-510901A)
 【公表日】平成20年4月10日(2008.4.10)
 【年通号数】公開・登録公報2008-014
 【出願番号】特願2007-530067(P2007-530067)
 【国際特許分類】

D 2 1 H 21/56 (2006.01)

D 2 1 H 21/22 (2006.01)

D 2 1 H 17/67 (2006.01)

【F I】

D 2 1 H 21/56

D 2 1 H 21/22

D 2 1 H 17/67

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月22日(2008.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

主としてセルロース繊維パルプを含む水性スラリーを生成させ、そのスラリーから湿潤シートを形成し、そしてそのシートを乾燥することを含んでなる、紙材料を製造する方法であって、スラリー中に凝集中空粒子ラテックスを用いることを改良点とする方法。

【請求項 2】

前記凝集中空粒子が平均粒子径 3 ~ 100 μ m を有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記凝集中空粒子がカチオン表面電荷を有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記凝集中空粒子がアニオン表面電荷を有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記凝集中空粒子が中性表面電荷を有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

追加の充填剤を使用し、凝集中空粒子が使用される全充填剤の少なくとも 10 重量%を構成する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記凝集中空粒子を、そのラテックス粒子の 10 ~ 70 % の範囲の内部空隙を有する中空ラテックス粒子から製造する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記凝集中空粒子が 30 ~ 90 % の範囲の総空隙容積を有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記凝集中空粒子ラテックスを、安定剤の添加により改質する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の方法により製造された紙材料。